

**具体的な施策・重要業績評価  
指標（KPI）進捗状況評価票  
【対象：平成30年度】  
（審議用）**

## 具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票 (対象:平成30年度)

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策	②	地域の連携によるにぎわいの創出
主担当課	経済観光課、政策課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府中駅周辺のエリアマネジメントを推進し、にぎわいを創出することで、中心市街地の活性化を図ります。</li> <li>・ラグビーワールドカップ日本大会及び東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、日本全国に、そして海外に府中市の魅力を発信するとともに、地域が一体となって国内及び海外からの訪問者の受入環境の充実・強化を進めます。</li> </ul>	

### 1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 休日のけやき並木通りの歩行者交通量	人	現状値以上					
		19,378	19,378	15,586	25,500	26,232	—
		※平成27年度の実績	—	C	A	A	

※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>○平成30年度より、府中駅南口にある大規模商業施設の合同セール「キテキテ府中」に、「ぶらりと京王府中」も参画し、地域におけるさらなる連携が図られるとともに、本イベントの認知度も高まっている。また、平成30年度に初めて実施した「むさし府中まちゼミ」も参加者より大変好評であった。</p> <p>○市から同法人への委託事業として、東京競馬場来場者を中心市街地に呼び込むためのタイアップ事業や中心市街地への来訪者をもてなすための竹あかりライトアップ事業、キテキテ府中マルシェなどを実施し、にぎわいの創出に寄与した。</p> <p>○さらに、ラグビーワールドカップ2019開催に向けた気運の醸成を図るべく、「カウントダウンモニュメント」を設置し、お披露目を兼ねたイベントを催した。同日には、「武蔵府中ワンハンドフードレシピコンテスト」と題して、ラグビーワールドカップ2019や、東京2020オリンピック・パラリンピックといった大規模イベントの開催に向け、片手で持つことができ、街歩きやイベント会場などでも食べやすい、本市ならではの「ワンハンドフード」のレシピの選定に係る試食会及び表彰式を執り行ったほか、2つの地元商店会が連携したイベントも開催され、大きなにぎわいを見せた。</p> <p>○外国人観光客おもてなし職員がインスタグラムを使って外国人向けに情報発信を行った。また、国内向けには、ラグビーワールドカップ2019や、東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成のための盛り上げイベントやキャンプ地情報等について、SNS、広報、ホームページまたはチラシなどを活用して情報発信を行い、市の魅力発信に努めた。</p>
A	<p>&lt; K P I ①の調査条件について &gt;</p> <p>○測定日時：平成30年10月14日（日）7時から19時（合計12時間）</p> <p>○場所：けやき並木通り（ル・シーニュ前） 天候：くもり</p> <p>○府中駅乗降客数：90,224人/日（平成29年度）→90,316人/日（平成30年度）</p>
【令和元年度における取組など】	
	<p>○一般社団法人まちづくり府中がコーディネートする大規模商業施設間の連絡会議は継続して実施するものとし、本年9月末をもって伊勢丹府中店が閉店することによる影響を最小限にとどめられるよう、これまで以上に関係団体との連携を深めていく。</p> <p>○また、本年9月20日より、ラグビーワールドカップ2019が開催されることを受け、本市をキャンプ地とするイングランド及びフランスにちなんだイベントの実施や、昨年度末に選定された「武蔵府中ワンハンドフードレシピ」の認知度向上や個店等への広がりを目指し、市の魅力向上や発信に努め、にぎわいの創出を図る。</p>

※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>中心市街地の賑わい創出に向けた各種取組や2019ラグビーワールドカップ、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた府中市の魅力発信事業が推進されたことは評価できる。また、KPIの指標も29年度同様高い数値を維持したことは評価できる。</p> <p>なお、本年9月末をもって府中駅周辺の核となる店舗であった伊勢丹府中店が撤退することであるが、その影響を少なくするための関係団体や地域が連携した取組みを実施してほしい。また、いよいよ本年はラグビーワールドカップの、来年はオリンピック・パラリンピックの開催年であることから、中心市街地の活性化や訪問者の増加に向けた取組みを実施してもらいたい。</p>
A	

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

## 具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票 (対象:平成30年度)

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成		
基本的方向	2	郷土への愛着を感じるふるさと意識の醸成		
具体的な施策	①	歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実		
主担当課	文化生涯学習課、スポーツ振興課		関連課	ふるさと文化財課、美術館
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市の伝統芸能や芸術文化を継承していくとともに、文化施設や歴史・文化遺産を活用して、郷土愛を持てるまちを目指します。</li> <li>・スポーツタウン府中の発展に向け、各種競技団体、市内の大学や市内を活動拠点とするトップチームなどとの連携を深め、府中市ならではの事業を展開します。</li> </ul>			

### 1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 郷土の森博物館及び美術館の入場者数	人	533,000					
		489,602	498,579	569,685	530,738	419,188	—
		/	A	A	A	B	
② 大学やトップチームと連携する事業数	事業	3					
		2	2	3	4	5	—
		/	A	A	A	A	

※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評 価	<p>① 郷土の森博物館では、天候不良による影響などにより、年間の利用者数は前年度を超えることができなかったが、リニューアルオープンしたプラネタリウムを活用するとともに、特別展・企画展・あじさいまつり・梅まつりの他、講座、体験学習・調査研究事業等の博物館事業が多彩に着実に行われ、市民の知的レクリエーションの場としてふさわしい事業の展開に努めた。</p> <p>美術館では、企画展・公開制作・鑑賞教室等を実施するとともに、市民ギャラリーでは、市内で活動する個人・団体の展示を実施した。</p> <p>天井改修工事の影響で平成30年9月3日から平成31年3月15日まで休館したが、来館者数は、144,526人を数えた。</p> <p>長期休館に伴う開館日数減少(252日→128日)の影響で来館者数が、前年度(246,972人)を下回ったが、1日当たりの平均入場者数では、前年度を上回っていることから、一定の評価ができる。</p> <p>市史編さん事業では、東京外国語大学と連携して近世古文書の調査と近代行政文書の調査を進めた。また東京農工大学と連携し、自然専門分野の調査を実施した。6分野からなる専門部会の活動による資料収集、調査、研究を進め、市史編さんの成果をまとめた刊行物として、研究紀要1冊と資料編3冊を発行した。</p> <p>市指定の無形民俗文化財である府中囃子の演奏技術の伝承に年間を通して支援した。武蔵国府太鼓は、市民を対象とした講習会を継続して実施するとともに、武蔵国府太鼓の演奏を収録したDVDを作成し、伝統芸能の普及に努めた。</p> <p>② 総合体育館では、本市ならではの事業として、トップチームよるフットサル教室及びチアダンス教室等を実施し、参加者からこれを機会に競技を始めたいとの多数の声がかかり好評を得た。また、トップチームと連携したボールふれあいフェスタ、トップチームや市内の大学と連携したみんなのスポーツdayを本市ならではの事業として展開し、スポーツタウン府中の発展に寄与した。</p>
A	

## 【令和元年度における取組など】

- ① 郷土の森博物館では、リニューアル1周年を迎えるプラネタリウムの投映内容をさらに充実させ、展示会では、令和改元にちなんだ「中世東国と改元」展、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴うミニ展「1964 オリンピックと府中」などを実施する。また、「あじさいまつり」と「梅まつり」については、植栽を充実させ市制施行65周年記念として開催し、利用者の増加を図る。

美術館では、企画展、常設展・所蔵品展を開催し、市民の美術文化に対する意識を高めるとともに、開館20周年を迎える2020年は、「東京2020オリンピック・パラリンピック」競技の一部が本市内で開催されることから、多くの外国人観光客の入場が見込める。そのため、トイレの洋式化やバリアフリーの向上に努め、利用者の利便性の向上を図る。

市史編さん事業では、東京外国語大学、東京農工大学などの大学と連携して調査研究を実施するとともに、専門部会所属の専門家や研究者と連携して資料収集、調査、研究を継続して進める。また市史編さんの成果をまとめた刊行物として、研究紀要、資料編、付属刊行物などを発行し、その配布と頒布を行う。

ラグビーワールドカップ2019開催時、本市を来訪する外国人を伝統文化でおもてなしをするため、府中囃子、武蔵国府太鼓演奏披露と芸術文化協会加盟団体による日本文化の紹介及び体験を行う。また、府中囃子及び武蔵国府太鼓の伝承普及や後継者の育成に継続して取り組む。

- ② KPI②「大学やトップチームと連携する事業数」では平成30年度においても前年度以上の数値を達成できた。今後は事業を継続するとともに、参加者満足度の向上のため事業内容を工夫することにより、更なる充実を目指していく。

- ※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。  
B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。  
C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>①美術館が約半年閉館していた影響が大きく、入場者数は目標値に達することができなかった。しかし、美術館における1日あたりの平均入場者数では、過去5年間の中で最も多いことから評価できる。今後も様々な企画・展示に期待したい。</p> <p>一方、郷土の森博物館の入場者数は、昨年度と比較し9,104人減少した。今後、リニューアルしたプラネタリウムのより一層のアピールや、活用、そして様々な展示や企画に期待したい。</p> <p>また、市史編さん事業や、伝統芸能の普及支援についても評価できる。今後も継続した取り組みに期待したい。2019年は「ラグビーワールドカップ2019」、2020年には「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催されることから、これらに向けた取り組みにも期待したい。</p> <p>②大学やトップチームと連携する事業数において、目標値を達成し、また、前年度と比較しても増加している点で評価できる。今後も事業の継続と、新たな事業の展開に期待したい。また、参加者満足度の向上のために、参加者のニーズの把握にも努めてほしい。</p>
<b>A</b>	

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。



**具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票**  
**(地方創生関連交付金対象事業)**  
**(対象:平成 30 年度)**

事業名	ラグビーのまち府中推進事業	
基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策	②	地域の連携によるにぎわいの創出
主担当課	政策課	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラグビーを新たな地域資源として捉え、様々なイベントの実施などによりラグビー人気の定着を図るとともに、PR活動の推進、市内の子どもたち向けラグビー教室の開催などにより、市内外において「ラグビーのまち府中」のイメージを確立させます。</li> <li>・「ラグビーのまち府中推進委員会」を立ち上げ、イベントの実施などを官民協働で実施することで、まちの賑わいづくりにおける共通認識とビジョンの共有を図り、将来の中心市街地活性化および商業の活性化に繋がります。</li> </ul>	

**1 重要業績評価指標 (KPI)**

指標名	単位	現状	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
		目標 (H28 年度)		目標 (H31 年度)		
		実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① ラグビーに関連する特産物や商品、飲食メニューの開発 (市内ラグビー関連スポット)	件	5		20		
		0	3	3	3	
		※平成27年度の実績	B	C	C	
② 市内でのラグビー関連イベントの参加者	人	5,000		10,000		
		1,500	7,500	8,750	9,180	
		※平成27年度の実績	A	A	A	
③ 大学やトップチームと連携するラグビー関連事業数	事業	2		9		
		2	5	8	12	
		※平成27年度の実績	A	A	A	

④	休日のけやき並木通りの歩行者通行量	人	現状値以上				
			19,378	15,586	25,500	26,232	
			※平成27年度の実績	C	A	A	
⑤	市内にラグビーチームが存在することを認知している市民の数	人	257,650				
			128,052	—	171,853	199,677	
			※平成27年度の実績	—	A	A	

※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評 価	<p>平成30年度は、「ラグビーのまち府中推進委員会」の活動が3年目となり、前年度までの取組に加え、公認チームキャンプ地に決定したため、関連事業を実施し、事業の拡大を行った。</p> <p>指標②③の関連では、トップリーグ2チームや大学ラグビー部との協働事業を継続拡大し、参加者・事業者数ともに増加となり、これに伴い指標⑤にあるチームの市民認知度も大きく増加する結果となった。一方で、指標①に関連するラグビー関連商品等の開発販売については伸び悩んでいるが、市内飲食店でラグビーをモチーフとした飲食の開発がされており、まちづくり府中が開催したワンハンドフーズコンテストではラグビーボール型のパンが大賞を受賞した。また、他にも市民レベルでラグビーをモチーフとした飲食開発の動きが進んでおり、引き続き関係者との調整等を行い、具体化に向け、検討を行っていく。</p>
B	
【令和元年度における取組など】	
<p>ラグビーワールドカップ2019の開催年となる平成31年度は、本大会の開催に伴い公認チームキャンプ地のPRと一体となって「ラグビーのまち府中」PR事業を相乗的な展開を図っていく。</p> <p>①のラグビー関連商品開発については、引き続き、商工会議所・商店街連合会のほか、庁内関係部署・観光協会・まちづくり府中、市内事業者等と連携し、商品開発に限らず飲食店のメニュー開発などを広い視点で検討を進めていく。</p> <p>②③に関連しては、平成30年度までの事業を継続して展開するとともに、ラグビーワールドカップ2019に関連したイベント（公認チームキャンプ地となった国・チームを応援・おもてなしするイベント）等を実施することにより、イベントへの参加者及び協働して実施する事業数の拡大を目指していく。</p>	

- ※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。  
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。  
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ K P I ①については、取り組みが遅れており、進捗状況は不十分である。個々の取り組みも行われているようだが、目標達成には厳しい状況であるので、施策に改善や工夫が必要である。</li> <li>・ K P I ②～⑤については、ともに取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。特に K P I ③では、ガイドブックを作成して市内各施設で配布するとともに、ラッピングバスを運行させるなど、積極的に新たな連携事業を行いイベント会場に足を運ばない方々にもラグビーのまちを広く P R する取組を進めたことが、大きく目標値を上回ったことにつながったと思われる。</li> <li>・ 今年度はラグビーワールドカップ 2 0 1 9 が開催するが、一過性の盛り上がりで終わることのないよう、引き続きラグビーを活用することにより府中市の地域活性化やスポーツの振興、ひいてはにぎわいの創出に寄与するような取り組みを期待したい。</li> </ul>
B	

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

**具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票**  
**(地方創生関連交付金対象事業)**  
**(対象:平成 30 年度)**

事業名	百人一首かるたコンテンツを活用した観光誘客推進事業	
基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策	①	市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進
主担当課	経済観光課	
事業概要	・国内外で普及しているかるたコンテンツやかるたを題材とした人気漫画「ちはやふる」を活用し、同作品ゆかりの地である滋賀県大津市、福井県あわら市、東京都府中市の3市と、関連企業、商業施設などが官民で連携することで、かるたコンテンツを発信し国内外からの観光客を誘致します。	

**1 重要業績評価指標 (KPI)**

指標名	単位	現状	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
		目標				
		実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 京王線府中駅における1日の乗降人員	人	現状値以上				
		85,279	88,100	90,224	90,316	
		※平成26年度の実績	A	A	A	
② 京王線分倍河原駅における1日の乗降人員	人	現状値以上				
		89,249	92,493	94,116	95,736	
		※平成26年度の実績	A	A	A	
③ 府中市主要観光施設(観光情報センター・観光物産館・郷土の森博物館・美術館・JRA競馬博物館・サントリー武蔵野ビール工場)観光入込客数	人	1,000,000				
		819,625	956,817	939,931	845,167	
		※平成27年度の実績	A	B	B	

※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>○漫画「ちはやふる」をテーマにした「ちはやふるキーワードラリーin 府中」を開催した。市内5箇所に設置されたパネルに書かれた文字を集め、キーワードを完成させる企画。京王電鉄主催の「ちはやふる」スタンプラリーと同時開催して相乗効果を得た。また、府中観光協会ツイッターを使って、漫画の主人公が情報発信を行う企画も実施し、フォロワーを増加させた。さらに、今年度も引き続き、府中多摩かるた会連盟（府中白妙会）が主催する初心者かるた大会の開催に協力した。</p>
B	<p>○KPI の③が減少した要因については、集計期間中に、美術館が7か月間、JRA競馬博物館が4か月間、サントリー武蔵野ビール工場が3か月間休館している時期があったことが要因の1つと考えられる。</p>
【令和元年度における取組など】	
<p>○引き続き「ちはやふる」とタイアップした事業を継続していくが、平成29年度にはスマートフォンアプリのラリーを、平成30年度はキーワードを集めるラリーを実施したため、令和元年度はそこから趣向を変え、原画展を中心としたイベントを実施する。場所は府中駅からアクセスが良く、また、新たな府中の魅力と言える「ル・シーニュ」の「バルトホール」で実施する。アニメシリーズの3期が10月より開始されるため、ファンの熱が高い時期に合わせることで相乗効果が期待できる。</p> <p>○また、毎年実施している初心者かるた大会については、引き続き府中多摩かるた会連盟に協力して実施する。さらに、今年は同会が市内で全国大会を開催する予定であるため、全国のかるたファンに府中をPRする格好の機会ととらえ、可能な限り協力する予定である。</p>	

※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ K P I ①②ともに順調に進展しており、進捗状況は良好である。取組内容を平成29年度のスマートフォンアプリのラリーから、平成30年度はキーワードパネルを利用したラリーに変更するとともに、京王電鉄のスタンプラリーと実施時期を合わせ、互いに広報や告知を協力することで単独で実施するよりも大きな規模での誘客を行なうなど工夫が伺える。引き続き官民連携した取組を進めてもらいたい。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ K P I ③については、1割弱減少しているが、対象施設の長期休館という該当年度固有の要因があったためと考えられ、おおむね順調に進捗している。国内外からの観光客を誘致するという事業概要であるため、インバウンド誘致の施策についても実施を検討してほしい。</li> </ul>

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

**具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票**  
**(地方創生関連交付金対象事業)**  
**(対象:平成 30 年度)**

事業名	市有財産の活用による中心市街地活性化に向けたまちづくり推進事業 ※平成29年度より「中心市街地活性化事業」と統合	
基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策	②	地域の連携によるにぎわいの創出
主担当課	財産活用課、経済観光課、政策課	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民連携による市有地活用のための民間事業者の募集および契約に当たり、助言や支援を受けるためのアドバイザー業務を委託し進めます。</li> <li>・中心市街地における「にぎわいの創出」と「回遊性の向上」を図るため、商業者等が一体となった取組を中心的に推進するまちづくり府中へのスタートアップ支援や、活動目的であるエリアマネジメントの推進に向けた支援を行います。</li> <li>・J R A 東京競馬場の来場者を中心市街地へ呼び込むための取組として、購入した馬券を提携店舗で提示することでサービスが受けられる「東京競馬応援サポーターズ事業」を実施しています。この事業の取組回数の拡大および効果的な P R 方法の検討により認知度を向上させるとともに、提携店舗を増加させることにより来場者の多様なニーズに応えられるような環境を整備することで、J R A 東京競馬場来場者の中心市街地における飲食を促し、商業の活性化を図ります。</li> </ul>	

**1 重要業績評価指標 (KPI)**

指標名	単位	現状	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
		目標				
		実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 府中駅周辺公共施設の再編に伴う新たな活用を行う施設数	件	2				
		0	0	1	1	
		※平成27年度の実績	A	A	A	
② 休日のけやき並木通りの歩行者通行量	人	現状値以上				
		19,378	15,586	25,500	26,232	
		※平成27年度の実績	C	A	A	
③ 大規模商業施設の年間販売額	億円	353				
		339	334	300	350	
		※平成27年度の実績	B	B	B	



④	東京競馬場タイアップ参加店舗数	店舗	20		100		
			17	100	66	44	
			※平成27年度の実績	A	C	C	
⑤	東京競馬場タイアップ来店数	組	200		16,000		
			104	17,190	8,465	2,236	
			※平成27年度の実績	A	C	C	

- ※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評 価	<p>①府中グリーンプラザについては、前年度に締結した基本協定をもとに、引き続き敷地活用事業者と協議を重ね、事業用定期借地権設定契約や既存建物無償譲渡契約、既存建物解体撤去に係る協定書などその後の敷地活用に必要な手続きを着実に進めた。このほか、既存施設の解体及び新施設の建設を進めるため、関係官公庁や隣接土地所有者等への説明や調整を敷地活用事業者と連携して行い、既存施設の解体工事に着手した。また、ふれあい会館敷地については、市事業の代替地として活用することとし、事業協力者と交渉を重ねた結果、土地売買契約を締結した。</p> <p>②平成30年度より、一般社団法人まちづくり府中への委託事業として実施した「キテキテ府中マルシェ」は、6月に開催した第1回は、天候に恵まれず来街者2万5千人となったものの、11月に開催した第2回では、7万5千人の方にご来場いただいた。このほかにも、一般社団法人まちづくり府中が中心となったソフト施策の充実、効果的な連携などにより、歩行者交通量も増加傾向にある。</p> <p>③一般社団法人まちづくり府中が主催する府中駅南口に立地する大規模商業施設間の合同セール「キテキテ府中」や本セール期間中に開催される「FUCHU WORLD FESTIVAL」の認知度が高まってきたこともあり、中心市街地のにぎわい創出に寄与した。また、平成29年7月に開業したル・シーニュの売上高なども加算されたことにより、前年度と比較して1割以上の増額となった。</p> <p>④⑤東京競馬場とのタイアップ事業については、平成29年度に「デジタル方式」のみを採用したことによる利用者の減少を踏まえ、平成30年度には、勝ち馬投票券と本事業のアンケート調査にご記入の上、観光情報センターへお持ちいただくことで、協力店で利用可能な金券をもらえる「アナログ方式」も採用したが、利用組数はさらに減少する結果となった。また、参加店舗数についても、昨年度と比較して減少した。</p>
B	

【令和元年度における取組など】

- ①旧府中グリーンプラザについては、既存建物の解体撤去の進捗管理を行うとともに、新施設竣工に向け敷地活用事業者との調整を引き続き行っていく。旧ふれあい会館については、既存建物の解体撤去を行い、事業協力者へ引き継ぐこととする。
- ②ラグビーワールドカップ2019の開催期間中には、本市を公認キャンプ地とするフランスとイングランドにちなんだミニマルシェ（仮称）を実施するなど、市内外から多くの方に来訪いただき、回遊していただくための仕掛けづくりに努め、休日の歩行者交通量の増加を目指す。
- ③大規模商業施設の年間販売額の増加に向けた取り組みとしては、本年9月末に伊勢丹府中店が閉店を迎えることから、本市における商業活動に大きな影響を及ぼすものと想定されるが、ラグビーワールドカップ2019をはじめとする国際的なスポーツイベントの開催を契機に、本市の魅力を効果的に発信していくべく、関係団体との連携を密なものとし、にぎわいの維持、向上を目指していく。
- ④⑤東京競馬場とのタイアップ事業については、これまで秋競馬開催時期のみに実施をしていたが、より来場者が多い春競馬の開催時期にも実施するなど、実施時期や回数などについて再度検討を行うとともに、参加店舗数を増加させることにより、利用者の幅広いニーズに応えられるような事業体制の構築を目指す。

- ※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。  
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。  
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】

協議会 評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・K P I ①については、1施設については手続きを進め、既存建物の解体工事に着手しており、別の1施設についても、土地売買契約を締結するなど手続きに着手しており、進捗状況は良好である。</li> <li>・K P I ②については、取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。</li> <li>・K P I ③については、新たな大規模商業施設の開業および施設間の合同イベントの開催等により、大幅な増加となり目標達成に向けおおむね順調に進捗している。引き続き、次年度の大規模商業施設の閉店の影響を見据え、施策に工夫が求められる。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・K P I ④及び⑤については、昨年度よりかなり低迷していて、現状ではK P I 目標に向けて達成が難しいので、競馬場という地域資源を有効に活用した取組の実施に向けて進めてもらいたい。一昨年度デジタル方式で減少した数値を、昨年度デジタル方式・アナログ方式としても回復できなかったことから、観光情報センターへ立ち寄りなければならない方式の今回のアナログ方式に問題があったのか十二分に検証した上で、具体的に次年度以降の施策を検討する必要がある。</li> </ul>

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。